

平成 29 年度【BMS 専攻シラバス】

授業科目名	バイオメディカルサイエンス A			授業形式	講義	
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位 = 30 時間	選択・必修	必修	
コーディネータ	片岡 徹	曜日・時限	前期 月曜日 13:20~16:40			
担当分野名	分子生物学、感染病理学・病理病態学、細胞生理学					
担当教員名	片岡 徹(分子生物学)、林 祥剛(感染病理学・病理病態学)、南 康博、西田 満、林 真琴(細胞生理学)					
学習到達目標	<p>分子・細胞レベルから個体レベルにいたる生体の構造と機能について理解する。(全体)</p> <p>体液調節・腎臓、呼吸、循環などの生体のホメオスタシスの維持に必須の機能について、分子・細胞、組織・器官から個体に至るレベルで理解する。(担当:片岡)</p> <p>細胞のもつ基本的な構造やその機能について理解する。感染症や癌を例として、健康とはなにか、病気とは何かについて概説し、病気の成り立ちを細胞、組織の異常として捉え、分子レベルの異常が肉眼像、臨床的な診断や治療にどのように反映されているかについて言及する。(担当:林)</p> <p>Wnt シグナルなどを例に挙げ、それらについての基礎知識と分子細胞生物学的研究手法を習得する。(担当:南、西田、林(真))</p>					
授業の概要 講義内容・講師が 5/29⇔6/12 入れ替わりしました。		日付	時間	場所	演習内容	担当者
	1)	4/10 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	人のからだの構造、正常と異常 (1)	林 祥剛
	2)	4/17 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	人のからだの構造、正常と異常 (2)	林 祥剛
	3)	4/24 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	人のからだの構造、正常と異常 (3)	林 祥剛
	4)	5/15 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	体液と腎臓の機能と調節機構	片岡 徹
	5)	5/22 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	呼吸系の機能と調節機構	片岡 徹
	6)	5/29 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	間葉系細胞の分化と分化機構について	林 真琴
	7)	6/5 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	細胞極性・移動の分子機構およびその異常と病態	西田 満
	8)	6/12 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	循環系の機能と調節機構	片岡 徹
	9)	6/19 (月)	13:20~ 16:40	共同会議室	Wnt シグナル:その生理と病理	南 康博
履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)	<p>学生が自宅に帰ってからも復習ができるようなハンドアウトを作成し、配布する。</p> <p>(履修上の注意については、各授業の際に追って具体的に指示する。)</p>					
参考書	<p>片岡担当分『オックスフォード・生理学』(丸善)</p> <p>林担当分『標準組織学総論・各論』(医学書院)、はじめの一步のイラスト病理学(羊土社)</p> <p>南・西田・林(真)担当分『Essential 細胞生物学』(南江堂)、『細胞生物学』(東京化学同人)</p>					
成績評価方法と基準	<p>講義の出席評価方法とレポートの課題・評価方法が各教員担当分によって多少異なるので、授業案内に記載する。さらに、各教員担当の最初の講義の際に詳細を説明する。最終成績は、各教員担当分の成績を平均して算出し、総合的に評価した結果、60点以上となったものを合格とする。評価の目安は、講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を“優”、その中でもさらに優れたものについては“秀”、講義の内容はよく理解したが、積極性が十分でないと判断できる場合を“良”、講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を“可”とする。(各教員共通)</p> <p>(1) 講義への出席状況および各講義の最後に小テストを行い総合的に評価する。(担当:片岡)</p> <p>(2) 講義への出席状況および出席試験により評価する。(担当:林(祥))</p> <p>(3) 講義への出席状況や(場合によっては)レポート提出により総合的に評価する。(担当:南、西田、林(真))</p>					

備考	(メールアドレス) hayashiy@med.kobe-u.ac.jp (林(祥))、 minami@kobe-u.ac.jp (南)、 nishita@med.kobe-u.ac.jp (西田)、 hayamako@med.kobe-u.ac.jp (林(真))、 kataoka@people.kobe-u.ac.jp (片岡) (オフィスアワー) 木曜日 16 時 30 分～17 時 30 分(林(祥))、火曜日 14 時～17 時(南)、火曜日 17 時～18 時(片岡)
----	--